

鹿児島県立与論高等学校  
**校長通信**

第9号(令和3年4月9日/校長 甲斐 修)



校訓「**好学 創造 親和 不屈**」

鹿児島県大島郡与論町茶花1234番地1



電話 (0997) 97-2064

FAX (0997) 97-2844



『校長通信』をお届けします

令和3年度が始まりました。今年度も『校長通信』をお届けします。生徒・保護者等を対象に、学校教育に関することや折々の校長室の話題を中心に紙面を構成していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

これまでの『校長通信』は、本校ホームページに掲載しています。  
[検索ルート] 与論高等学校Top>学校紹介>学校長挨拶・校長通信

本校の学習指導と学習評価が変わります

新しい学習指導要領では、生徒に育成すべき学力(資質・能力)が「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に整理されています(図1)。その育成に当たっては、学校がどのような資質・能力を生徒に育成するのかを明確にして、主体的・対話的で深い学びが実現する授業の実践と学習評価の工夫・改善によって実現を図ることが求められています。

この方向性は、現在進められている高大接続改革(図2)と軌を一にするものであり、各高等学校においては、教育目標の実現と授業改善に係る不断の取組

が必要とされています。

本校では昨年度、新しい学習指導要領に基づく教育活動の実施に向けて、これから必要とされる授業や評価の在り方などについて検討を重ねてきました。

今年度からの大きな変更点は次の二つです。

**変更① 定期考査を廃止し、単元毎に学習評価を行う**

各教科の授業では、単元毎に三つの資質・能力について丁寧に評価し、それを総括することで学期や学年の成績を算出します。知識・技能を観るペーパーテストだけに偏らないよう各教科の特色を生かし、発表やレポートを取り入れるなど、三つの資質・能力をバランスよく評価する方法(単元テスト)を取り入れた授業を行います。その際、各教科で単元毎のシラバス(授業予定表)を配布し、単元の目標や授業内容、評価の規準や計画を予め生徒に示すことで、生徒の主体的な学習を促します。このような取組を徹底して行うことから、これまで行ってきた中間考査や期末考査といった定期考査を廃止します。

**変更② 朝課外を廃止する**

資質・能力の育成の観点に基づいて授業を重点的に改善するため、これまで授業以外で演習などを行ってきた朝課外を廃止します。演習については問題を精選し、授業時数の中に収まるような工夫をしていきます。朝課外に費やしてきた時間を含め、生徒が学校外における自分の時間を自身の成長のために主体的に使っていく(自己管理する)姿勢を身に付けてほしいというねらいもあります。

資質・能力の育成と教育目標の実現

本校では昨年度、教育目標を踏まえ、「予測が困難な時代を主体的に生き抜く力をもった生徒を育成する」という重点目標を定めました。これを基に新しい学習指導要領における資質・能力の三つの柱を校訓「好学・創造・親和・不屈」の四つの視点で表したものが裏面の図表です。

今年度、各教科の単元シラバスにおいて、授業で育成を目指す資質・能力が校訓の何に相当するのかを明記することで、授業者と生徒の双方が教育目標(重点目標)の実現を意識できるようにしていきます。

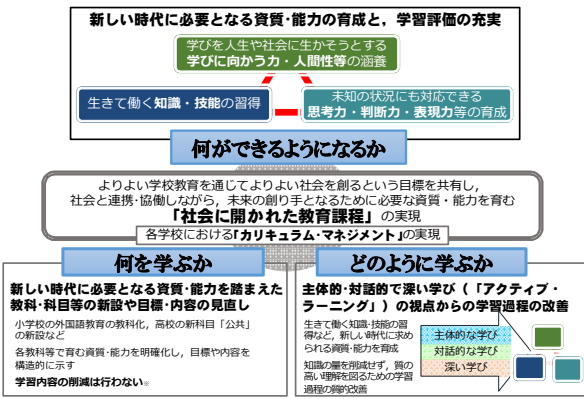
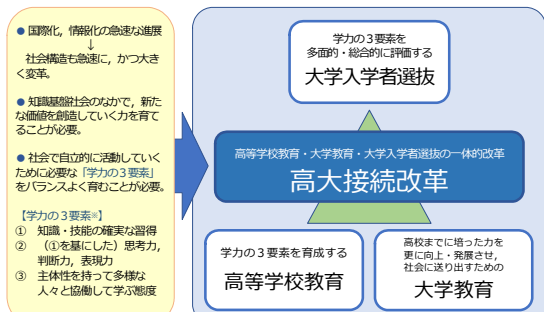


図1 学習指導要領改訂の考え方 出所：文部科学省ホームページ



※ 学力の3要素は、中央教育審議会「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について～全ての若者が夢や目標を追求させ、未来に花開かせるために～(答申)」(平成26年12月22日)で示されたもの

図2 「高大接続改革」の必要性 出所：文部科学省ホームページ

《与論高等学校の教育目標》

憲法，教育基本法の精神にのっとり，「**好学の気風**」「**創造の精神**」「**親和の態度**」「**不屈の根性**」の校訓のもと，知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で豊かな人間形成をめざし，わが国の文化と伝統を尊重する態度と国家・社会の進展に寄与できる有為な人材を育成する。

《重点目標》

**予測が困難な時代を主体的に生き抜く力をもった生徒を育成する**

予測が困難な時代を主体的に生き抜くためには，「学ぶことの意義を理解し(**好学**)，未知の状況の中で，正解のない問いに対しても，よりよい解決策を見出す(**創造**)ために，多様な人々と協働しながら(**親和**)，粘り強く取り組もうとする力(**不屈**)」が必要である。

校訓 資質・能力の三つの柱	好学 学問を好むこと。学問に興味や関心をもつこと。	創造 それまでなかったものを初めてつくり出すこと。	親和 互いに親しみ，心を合わせること。	不屈 困難に屈せず意志を貫くこと。
＜何を理解しているか・何ができるか＞ 生きて働く <b>知識及び技能</b>	「学ぶこと」の意義の理解と，「学ぶ方」に必要な技能  ※ <b>自律性</b>	問題の解決に向けて，既得の知識・技能を活用したり，新しい知識・技能と関連づけて考えたりする方法の理解と，そのために必要な技能  <b>柔軟性</b>	多様性に対する理解及び協働して学び合うことの意義の理解と，そのために必要な技能  <b>協調性</b>	目標をもって粘り強く取り組むことの意義の理解と，そのために必要な技能  <b>計画性</b>
＜理解していること・できることをどう使うか＞ 未知の状況にも対応できる <b>思考力，判断力，表現力等</b>	問題の解決に必要な知識・技能は何かを自己と関連づけて考え，整理し，それを学び取ることができる力  <b>応用力</b>	問題の解決に向けて，既存の価値観にとらわれることなく，新たな意味や価値を生み出すことができる力  <b>問題解決力</b>	問題の解決に向けて，多様な人々と考えを伝え合い，合意形成を図ったり，自己の考えを深めて表現したりすることができる力  <b>発信力</b>	問題の解決に向けて，各教科等で身に付けた力を統合的に活用し，粘り強く取り組むことができる力  <b>実行力</b>
＜どのように社会・世界と関わり，よりよい人生を送るか＞ 学びを社会や人生に生かそうとする <b>学びに向かう力，人間性等</b>	「学ぶこと」を自らのキャリア形成と関連づけ，学び続けようとする態度  <b>生涯学習基礎力</b>	自ら問題を発見し，その解決策を見出す姿勢を，よりよい人生や社会の構築に生かそうとする態度  <b>構想力</b>	多様な人々と体験的な活動を通して協働しながら，よりよい人生や社会を構築していこうとする態度  <b>実践力</b>	困難な状況でも目標に向かって粘り強く取り組もうとする態度  <b>忍耐力</b>

※各枠内に示した資質・能力は，相互に関連させながら育成を目指す主なものである。